

清須市の高齢者福祉施策の実績

1 介護保険サービス

(1) 居宅・介護予防サービス

①訪問介護・介護予防訪問介護

■事業内容・目的

- ・訪問介護員（ホームヘルパー）が居宅を訪問して、入浴、排せつ、食事等の介護、その他の日常生活上の世話をを行うサービスです。

■現況と課題

- ・訪問介護サービス・介護予防訪問介護サービスは、24年度に減少がみられましたが、その後、増加傾向にあるため、ニーズに答えられるよう検討していく必要があります。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
訪問介護	延べ人数（人）	2,960	2,716	2,921
	人数／月	246	226	243
介護予防訪問介護	延べ人数（人）	1,748	1,766	1,857
	人数／月	145	147	155

②訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護

■事業内容・目的

- ・介護士、看護師が居宅を訪問して、浴槽を持ち込んで入浴の介護を行うサービスです。

■現況と課題

- ・訪問入浴介護サービスの利用実績は横ばいです。予防訪問入浴介護にいたっては利用実績はありません。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
訪問入浴介護	延べ人数（人）	351	346	357
	人数／月	29	29	30
介護予防訪問入浴介護	延べ人数（人）	0	0	0
	人数／月	0	0	0

③訪問看護・介護予防訪問看護

■事業内容・目的

- ・看護師等が医師の指示により、居宅を訪問して、寝たきりや病気、障害のある人の看護を行うサービスです。

■現況と課題

- ・訪問看護サービスは、24年度に減少がみられましたが、その後、大幅に増加し、今後は高齢者のニーズに応えられるよう検討していく必要があります。逆に介護予防訪問看護サービスは、減少傾向あります。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
訪問看護	延べ人数（人）	887	811	955
	人数／月	73	68	80
介護予防訪問看護	延べ人数（人）	108	102	83
	人数／月	9	9	7

④訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション

■事業内容・目的

- ・理学療法士や作業療法士、言語聴覚士等が居宅を訪問して、理学療法、作業療法その他必要なリハビリテーションを行うサービスです。

■現況と課題

- ・訪問リハビリテーションサービスの利用は24年度に減少がみられましたが、ほぼ横ばいで推移しています。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
訪問リハビリテーション	延べ人数（人）	289	265	271
	人数／月	24	22	23
介護予防訪問リハビリテーション	延べ人数（人）	5	7	9
	人数／月	1	1	1

⑤居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導

■事業内容・目的

- ・医師、歯科医師、薬剤師、看護職員等が居宅を訪問し、療養上の情報提供、指導及び助言を行うサービスです。

■現況と課題

- ・居宅療養管理指導サービスの延べ人数は、増加傾向にあり、今後高齢者のニーズに応えられるよう整備していく必要があります。介護予防居宅療養管理指導サービスは、横ばい傾向です。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
居宅療養管理指導	延べ人数（人）	1,551	1,660	1,788
	人数／月	120	138	149
介護予防 居宅療養管理指導	延べ人数（人）	157	166	164
	人数／月	13	14	14

⑥通所介護・介護予防通所介護（デイサービス）

■事業内容・目的

- ・日帰りで介護施設等において、入浴、食事の提供、日常生活上の世話、機能向上訓練等を行うサービスです。

■現況と課題

- ・通所介護サービスの利用実績は 24 年度に減少がみられましたが、その後、増加傾向にあります。今後高齢者のニーズに応えられるよう検討していく必要があります。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
通所介護	延べ人数（人）	6,363	5,846	6,321
	人数／月	530	487	527
介護予防通所介護	延べ人数（人）	2,138	2,259	2,403
	人数／月	178	188	200

⑦通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション（デイケア）

■事業内容・目的

- ・介護老人保健施設、病院等において理学療法、作業療法その他必要なリハビリテーションを行うサービスです。

■現況と課題

- ・通所リハビリテーションサービスの利用実績は増加傾向にあります。介護予防通所リハビリテーションサービスは、微増傾向にあります。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
通所リハビリテーション	延べ人数（人）	831	860	931
	人数／月	78	72	78
介護予防通所リハビリテーション	延べ人数（人）	181	161	175
	人数／月	15	13	15

⑧短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

■事業内容・目的

- ・介護老人福祉施設等に短期間入所し、入浴、排せつ、食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練を行うサービスです。

■現況と課題

- ・短期入所生活介護サービスは 24 年度に減少がみられましたが、その後、増加傾向にあります。介護予防短期入所生活介護サービスは増加傾向にあります。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
短期入所生活介護	延べ人数（人）	2,179	2,104	2,245
	人数／月	184	175	187
介護予防短期入所生活介護	延べ人数（人）	50	95	104
	人数／月	5	8	9

⑨短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護（医療型ショートステイ）

■事業内容・目的

- ・介護老人保健施設、療養型医療施設等に短期間入所し、医学的な管理のもとで介護、機能訓練その他必要な医療及び日常生活上の世話をを行うサービスです。

■現況と課題

- ・短期入所療養介護サービス・介護予防短期入所療養介護サービスは、減少傾向にあります。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
短期入所療養介護	延べ人数（人）	40	15	10
	人数／月	3	1	1
介護予防 短期入所療養介護	延べ人数（人）	3	3	2
	人数／月	0	0	0

⑩特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護

■事業内容・目的

- ・利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、指定を受けた有料老人ホームや軽費老人ホームなどが、食事や入浴などの日常生活上の支援や、機能訓練などを提供するサービスです。

■現況と課題

- ・特定施設入居者生活介護サービス・介護予防特定施設入居者生活介護は、延べ人数が増加傾向にあります。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
特定施設入居者 生活介護	延べ人数（人）	566	672	679
	人数／月	47	56	57
介護予防特定施設 入居者生活介護	延べ人数（人）	113	120	142
	人数／月	9	10	12

⑪福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与

■事業内容・目的

- ・特殊寝台（電動ベッド等）、車イス、エアマット等の貸し出しを行います。自宅で自立した生活を送るため、また介護者の負担を軽減するため、効果的なサービスです。

■現況と課題

- ・福祉用具貸与サービス・介護予防福祉用具貸与の利用は、増加傾向にあります。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
福祉用具貸与	延べ人数（人）	5,149	5,251	5,454
	人数／月	429	438	455
介護予防 福祉用具貸与	延べ人数（人）	1,106	1,203	1,384
	人数／月	92	100	115

⑫特定福祉用具販売・介護予防特定福祉用具販売

■事業内容・目的

- ・入浴または排せつの用に供する福祉用具等の購入費の支給を行います。

■現況と課題

- ・特定福祉用具販売サービスは、24年度に大幅に増加しましたが、平成25年には減少しています。予防特定福祉用具販売サービスは、微増傾向にあります。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
特定福祉用具販売	延べ人数（人）	150	288	204
	人数／月	12	24	17
介護予防 特定福祉用具販売	延べ人数（人）	61	72	84
	人数／月	5	6	7

⑬住宅改修

■事業内容・目的

- ・手すりの取り付けや段差解消等の住宅改修を行った時に保険給付を行います。自立した在宅生活を送るため、また介護者の負担を軽減するため、さらには住宅内での事故防止のために、住宅改修の積極的な活用が必要であり、また福祉用具の機能を十分発揮させるためにも、住環境の整備（住宅改修）が重要となっています。

■現況と課題

- ・住宅改修サービスは、24年度に大幅に増加しましたが、25年度に大きく減少しています。住宅改修（介護予防）についても年度ごとの増減が一定ではありません。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
住宅改修	延べ人数（人）	104	216	84
	人数／月	8	18	7
住宅改修（介護予防）	延べ人数（人）	82	60	108
	人数／月	6	5	9

⑭居宅介護支援・介護予防居宅介護支援

■事業内容・目的

- ・居宅で介護を受ける方の心身の状況、希望等を踏まえ、保健医療サービス、福祉サービスの利用等に関し、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、これらが確実に提供されるよう介護サービス提供機関等との連絡調整等を行うサービスです。

■現況と課題

- ・居宅介護支援サービス・介護予防居宅介護支援は、延べ人数が増加傾向にあります。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
居宅介護支援	延べ人数（人）	8,813	9,334	10,029
	人数／月	734	778	836
介護予防 居宅介護支援	延べ人数（人）	3,901	4,033	4,293
	人数／月	325	336	358

(2) 施設サービス

■事業内容・目的

- ・常時介護や医療行為、療養が必要な高齢者が施設に入所できるサービスです。

■現況と課題

- ・介護老人福祉施設と介護老人保健施設は、延べ人数が増加傾向にあります。介護療養型医療施設は、減少傾向にあります。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	延べ人数 (人)	2,852	3,298	3,362
	人数/月	237	275	280
介護老人保健施設	延べ人数 (人)	1,207	1,193	1,301
	人数/月	100	99	108
介護療養型医療施設	延べ人数 (人)	849	657	469
	人数/月	70	55	39

(3) 地域密着型サービス

①認知症対応型通所介護（認知症デイサービス）

■事業内容・目的

- ・認知症の高齢者が、デイサービスセンター等の施設に日帰りで通い、入浴や食事、日常生活動作の訓練を受けるサービスです。

■現況と課題

- ・認知症対応型通所介護サービス・介護予防認知症対応型通所介護サービスは、利用が見られませんでした。

【実績値】

業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
認知症対応型 通所介護	延べ人数 (人)	0	0	0
	人数/月	0	0	0
介護予防 認知症対応型 通所介護	延べ人数 (人)	0	0	0
	人数/月	0	0	0

②小規模多機能型居宅介護

■事業内容・目的

- ・「通い」を中心として、「泊まり」「訪問」を組み合わせ提供するサービスです。
このサービスは、居宅での生活の継続を支援することを目的としており、要介護者の心身の状況や環境に応じて、本人の選択により、居宅またはサービスの拠点に通い、もしくは短期間宿泊し、その拠点において入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話や機能訓練を行います。

■現況と課題

- ・小規模多機能型居宅介護サービス・介護予防小規模多機能型居宅介護サービスは、利用が見られませんでした。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
小規模多機能型居宅介護	延べ人数（人）	0	0	0
	人数／月	0	0	0
介護予防小規模多機能型居宅介護	延べ回数（回）	0	0	0
	人数／月	0	0	0

③認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

■事業内容・目的

- ・認知症の状態にある要介護者が、共同生活を営むべき住居において、入浴、排せつ、食事等の介護、その他の日常生活及び機能訓練を行うものです。

■現況と課題

- ・認知症対応型共同生活介護サービスは、24年度に減少しましたが、25年には増加に転じています。介護予防認知症対応型共同生活介護サービスは、横ばい傾向にあります。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
認知症対応型共同生活介護	延べ人数（人）	283	243	276
	人数／月	23	20	23
介護予防認知症対応型共同生活介護	延べ人数（人）	0	8	8
	人数／月	0	1	1

④地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

■事業内容・目的

- ・小規模な介護老人福祉施設に入所している要介護者について、介護サービス計画に基づき入浴、排せつ、食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練及び療養上の世話を行うサービスです。

■現況と課題

- ・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護サービスは、利用が見られませんでした。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	延べ人数（人）	0	0	0
	人数／月	0	0	0

⑤定期巡回・随時対応型訪問介護看護

■事業内容・目的

- ・重度者をはじめとした要介護高齢者の在宅生活を支えるため、日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が密接に連携しながら、短時間の定期巡回型訪問と随時の対応を行うサービスです。

■現況と課題

- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用は増加傾向にあります。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	延べ人数（人）		18	28
	人数／月		2	2

⑥夜間対応型訪問介護

■事業内容・目的

- ・ヘルパーによる定期的な夜間の訪問や、緊急時の夜間の訪問を行うサービスです。

■現況と課題

- ・夜間対応型訪問介護サービスは、利用が見られませんでした。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
夜間対応型訪問介護	延べ人数（人）	0	0	0
	人数／月	0	0	0

⑦複合型サービス

■事業内容・目的

- ・小規模多機能型居宅介護と訪問看護等、複数の居宅サービスや地域密着型サービスを組み合わせて提供するサービスです。

■現況と課題

- ・複合型サービスは、利用が見られませんでした。

【実績値】

事業名	単位	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
複合型サービス	延べ人数（人）	0	0	0
	人数／月	0	0	0

2 高齢者福祉事業

(1) 高齢者福祉事業の現状

①介護用品支給事業

■事業内容・目的

- ・介護用品を使用している在宅寝たきり高齢者等に対して、介護用品を支給することにより、その介護者の負担を軽減することを目指し、オムツが必要な寝たきり高齢者等に紙おむつ等の介護用品を支給します(病院に入院している場合も利用可能。ただし、介護保険施設入所者を除く)。

対象者：①常時臥床またはこれに準ずる状態の人（要介護3以上で主治医意見書中障害老人の日常生活自立度でA1以上の人）

②認知症高齢者

(要介護3以上で認知症高齢者の日常生活自立度でⅡb以上の人)

■現況と課題

- ・在宅の寝たきり高齢者に介護用品を支給し、介護者の負担を軽減しています。

【実績値】

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
計(人)	359	379	346

②寝具洗濯乾燥事業

■事業内容・目的

- ・在宅寝たきり高齢者、ひとり暮らし高齢者、重度身体障害者、難病患者の寝具の洗濯乾燥を実施することにより、健全で快適な生活を確保します。掛布団および敷布団の乾燥、掛布や敷布等のクリーニング、寝具類のリースを1人につき月2回以内で実施しています。

対象者：①おおむね65歳以上で常時臥床またはこれに準ずる状態が3か月以上継続している人

②ひとり暮らし高齢者でおおむね65歳以上の人

③身体障害者福祉法に基づく1級または2級に該当する下肢または体幹障害を有する人

④介護が必要な状態にある特定疾患および慢性関節リウマチ患者

■現況と課題

- ・在宅寝たきりや一人暮らしの高齢者、身体障害者等の寝具の乾燥を実施し、健全で快適な生活の確保を図っています。

【実績値】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
寝たきり高齢者（人）	3	4	3
ひとり暮らし高齢者（人）	20	20	18
身体障害者（人）	7	6	6
難病患者（人）	0	0	0
計（人）	30	30	27

③老人住宅改善費補助事業

■事業内容・目的

- ・高齢者が居住する住宅における環境整備および改善に要する経費に対し補助金を交付し、日常生活を営む為に、居室、浴室、トイレ等の改善に要する経費の一部を助成します。（介護保険住宅改修費の支給を優先し、併用も可能）

対象者：おおむね 65 歳以上の低所得の人（原則として本人およびその属する世帯の生計中心者が所得税を課せられていないものをいう。）であって、介護保険法第 19 条第 1 項および第 2 項に規定する要介護・要支援認定を受けた人および非該当と判定されたが自立した生活を営むために支援を必要とする人

■現況と課題

- ・介護保険で賄いきれない部分を補っています。

【実績値】

	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	補助件数	うち介護 保険併用	補助件数	うち介護 保険併用	補助件数	うち介護 保険併用
居室	0	0	0	0	0	0
浴室	2	2	2	2	0	0
トイレ	0	0	2	1	1	1
その他	0	0	1	1	1	1
計（件）	2	2	5	4	2	2

④配食サービス事業

■事業内容・目的

- ・日常生活を営むのに支障があり、食事に不自由している要援護高齢者、ひとり暮らし高齢者等に対し、食事を宅配することにより、永年住み慣れた地域社会の中で引き続き生活していくことを支援し、食生活の改善および健康保持ならびに安否の確認を行っています。調理が困難な高齢者等に対して、毎週月曜日から金曜日の昼食および夕食の宅配を行います。

対象者：①おおむね 65 歳以上の単身世帯

②高齢者（65 歳以上）世帯

③①、②に準ずる世帯

④身体障害者

■現況と課題

- ・高齢者の増加に伴い、利用者数が増えてきています。

【実績値】

		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
高齢世帯	単身世帯（世帯）	133	165	180
	2人以上世帯（世帯）	100	121	132
	準ずる世帯（世帯）	33	30	15
身体障害者		11	10	9
計（人）		277	326	336

⑤日常生活用具給付等事業

■事業内容・目的

- ・おおむね65歳以上の人で、疾病等により身体が虚弱な高齢者で日常生活に支障があるひとり暮らし高齢者等に対し、日常生活用具を給付し、または貸与することにより、日常生活の便宜を図ります。短期的に在宅で特殊寝台が必要な場合、60日を限度として貸与します（介護保険での貸与が受けられない場合に限る）また、ひとり暮らし老人を対象に電磁調理器・自動消火器を給付しています。

区分	種目	基準額	対象者	性能	自己負担額
貸与	特殊寝台	月12,000円	介護保険法の規定に基づく要介護・要支援認定の申請中の人または介護保険施設に入院入所中の一時外泊者	使用者の背部または胸部の傾斜角度調整する機能を有し落下防止柵が取り付けられ安全の確保が配慮されたものであること	月額1,200円 (14日以内の場合は、600円)
給付	電磁調理器	41,000円	おおむね65歳以上であって、心身機能の低下にともない防火等の配慮が必要なひとり暮らし老人等	電波による調理器であって、老人が容易に使用し得るものであること	4,540円
給付	自動消火器	30,900円	おおむね65歳以上のひとり暮らし老人	屋内温度の異常上昇または炎の接触で自動的に消火液を噴出し初期火災を消火し得るものであること	3,090円

■現況と課題

- ・疾病等による虚弱な高齢者が利用しており、日常生活の便宜を図っています。

【実績値】

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	件数(件)	件数(件)	件数(件)
特殊寝台	20	25	33
電磁調理器	3	1	0
自動消火器	0	0	0
計	23	26	33

⑥在宅老人ショートステイ事業

■事業内容・目的

- ・日常生活に支障がある高齢者を介護している家族が、疾病にかかるなどの緊急やむを得ない理由により居宅における介護ができない場合等に、当該高齢者を一時的に特別養護老人ホームに入所させ、生活習慣の指導や体調調整を図ります。高齢者を介護している家族の緊急やむを得ない理由により介護できない場合（介護保険での給付が受けられない場合に限る）、高齢者の生活習慣の指導および体調調整を図る場合、また身体上、精神上または環境上の理由により、一時的に家庭で生活することが困難な場合に、当該高齢者を一時的に特別養護老人ホームに入所するサービスです。

対象者：おおむね 65 歳以上の人で在宅の虚弱高齢者
(介護保険の認定申請を行い、非該当となった人)

■現況と課題

- ・介護認定で「非該当」となった高齢者の介護者緊急やむを得ない場合に利用しています。

【実績値】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
利用者数 (人)	1	1	0
利用日数 (日)	3	6	0

⑦ホームヘルパー派遣事業

■事業内容・目的

- ・身体上または精神上的の障害があつて、日常生活を営むのに支障があるおおむね 65 歳以上の虚弱高齢者、難病患者等の家庭に、ホームヘルパーを派遣する。家庭に訪問して、家事援助、身体介護を行います。1 時間以内/回 (週 1 回)

対象者：①おおむね 65 歳以上の日常生活に支障がある高齢者
(介護保険の認定申請を行い、非該当となった人)

②難病患者

■現況と課題

- ・介護認定で「非該当」となった虚弱高齢者が利用しており、家事援助サービスの利用が中心となっています。
- ・身の回りのことができない虚弱な高齢者をサポートすることで安心して生活をおくることができます。
- ・予防給付におけるサービス内容との調整が必要と考えられます。

【実績値】

	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	人員 (人)	派遣回数 (回)	人員 (人)	派遣回数 (回)	人員 (人)	派遣回数 (回)
高齢者	19	688	16	541	11	377
難病患者	0	0	0	0	0	0
計	19	688	16	541	11	377

⑧在宅老人デイサービス事業

■事業内容・目的

- ・在宅の高齢者に対し、日常生活に必要な動作の訓練から様々な趣味活動まで、一人ひとりが自立した、生きがいのもてる生活を送れるよう各種サービスによって支援し、家に閉じこもりがちな高齢者に社会参加の機会を提供します。デイサービスセンターへ送迎し、健康チェック、給食サービス、趣味活動などを行います（週1回）。

事業実施場所：清洲総合福祉センター

対象者：おおむね 65 歳以上の高齢者（介護保険の認定申請を行い、非該当となった人）

■現況と課題

- ・介護認定で「非該当」となった高齢者が利用しており、家に閉じこもりがちな高齢者に社会参加の機会を提供する必要があります。

【実績値】

	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	実人員 (人)	延べ回数 (回)	実人員 (人)	延べ回数 (回)	実人員 (人)	延べ回数 (回)
清洲総合福祉センター計	11	431	11	364	8	237

⑨緊急通報システム事業

■事業内容・目的

- ・ひとり暮らし高齢者等の緊急時における連絡体制を確保し、不安の解消および救護を行い、緊急時に、警備会社または受信センターに通報・連絡し、万一の安全を確保します。

対象者：①おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者

②高齢者世帯で緊急性のある病気をもつ人

③身体障害者のみの世帯およびこれに準ずる世帯に属する身体障害者

■現況と課題

- ・民生委員を通じて勸奨しています。

【実績値】

	平成23年度末時点設置者			平成24年度末時点設置者			平成25年度末時点設置者		
	セコム	安全センター	計	セコム	安全センター	計	セコム	安全センター	計
高齢者単身世帯（世帯）	149	77	226	147	87	234	133	87	220
高齢者のみの世帯（世帯）	7	3	10	5	5	10	5	5	10
身体障害者（世帯）	2	1	3	2	1	3	2	1	3
計	158	81	239	154	93	247	140	93	233

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
消防署に通報し救急車を手配した件数（件）	35	45	22
通報システムに相談のあった件数（件）	124	131	71

⑩救急医療情報キット配布事業

■事業内容・目的

- ・高齢者に、緊急時に必要な救急医療情報を保管する「救急医療情報キット」を配布し、万一の救急時に備えて、個人の医療情報を容易な方法で自宅に保管することにより、在宅において安心して生活できる環境を整備することを目的としています。

対象者：①清須市に居住し、当市の住民基本台帳に記載されている65歳以上のひとり暮らしの者

②その他、市長が必要と認める者

■現況と課題

- ・民生委員を通じて勸奨しています。

【実績値】

平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
936人	174人	130人

⑪老人福祉車購入費補助金交付事業

■事業内容・目的

- ・歩行困難な高齢者が、老人福祉車の購入に要する経費に対し、補助金を交付しています。老人福祉車を購入する際、その費用に対し補助金を交付します。

対象者：おおむね 65 歳以上の高齢者で外出の際には杖等を必要とする人

■現況と課題

- ・平成 24 年度は一時的に増加しましたが、翌年再び減少しています。

【実績値】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
手押し車（台）	41	64	40

⑫福祉カード交付事業

■事業内容・目的

- ・高齢者が指定された公共施設を利用することにより、社会的視野を広めるとともに高齢者に生きがいを与えることを目的としています。顔写真入り証明カードを発行し、高齢者がカードを提示することにより、名古屋港水族館など各施設で入場料等の割引等を受けることができます。

対象者：65 歳以上の高齢者（顔写真が必要）

■現況と課題

- ・65 歳以上の人口が増えている割には交付者数が伸びていません。

【実績値】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
既交付済数	2,294	2,522	2,778
交付数	231	262	174
返還数	3	6	18
現交付数（件）	2,522	2,778	2,934

⑬老人無料入浴制度事業

■事業内容・目的

- ・公衆浴場の利用料を無料とすることで、高齢者の利用を促進し、コミュニケーションを図るとともに、健康の増進および福祉の向上を目的としています。福祉カードの交付を受けた人に対し、無料入浴利用券交付申請により入浴利用券を発行します。1か月あたり2回の利用が可能です。利用時には、福祉カードの提示および入浴利用券を提出する必要があります。

対象者：65歳以上の高齢者

■現況と課題

- ・少しずつではありますが、延べ利用者数が増えています。

【実績値】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	延べ利用者数（人）		
憩温泉	7,893	8,397	8,470
二川湯	1,877	1,870	1,795
計	9,770	10,267	10,265

⑭老人クラブ活動費の補助

■事業内容・目的

- ・高齢者の知識や経験を生かし、生きがい、健康づくりのため多様な社会活動を行い、老後の生活を豊かにするとともに明るい長寿社会づくりに資するため、老人クラブおよび老人クラブ連合会に対して社会福祉協議会事業費補助金（社会福祉課予算）の中で社会福祉協議会より補助を行います。（間接補助）老人クラブ活動費および老人クラブ連合会活動費の補助をします（社会福祉協議会を通じての間接補助）。

■現況と課題

- ・会員数は減少傾向にあります。

【実績値】

		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
クラブ数		50	50	48
会員数	男（人）	2,255	2,237	2,184
	女（人）	3,195	3,141	3,031
	合計（人）	5,450	5,378	5,215
補助額（千円）		9,438	9,438	9,438
市への県費補助金（千円）		1,474	1,096	1,203

⑮敬老金支給事業

■事業内容・目的

- ・多年にわたり社会の進展に貢献した高齢者に対し、敬老金を支給して感謝の意を表するとともに、その長寿をお祝いします。

■現況と課題

- ・数え 88 歳の高齢者に支給しています。

【実績値】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
対象（歳）	数え 88	数え 88	数え 88
金額（円）	10,000	10,000	10,000
支給人員（人）	203	199	205
支給額（円）	2,030,000	1,990,000	2,050,000

⑯金婚祝い

■事業内容・目的

- ・結婚 50 年を迎える夫婦に対し、敬老会で祝品等の贈呈を行い、結婚 50 周年をお祝いします。

■現況と課題

- ・25 年度は特別多かったものの、基本的には、毎年度同じような組数となっています。

【実績値】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
贈呈数（組）	48	46	80

⑰長寿記念祝金等支給事業

■事業内容・目的

- ・本市に居住している満 100 歳到達者に祝金等を支給します。

■現況と課題

- ・ほぼ横ばい傾向です。

【実績値】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
支給者数(人)	12	15	11

⑩シルバー人材センターへの補助金

■事業内容・目的

- ・シルバー人材センターの運営を通じて高齢者の方の就労や社会参加の機会提供に取り組んでいます。

■現況と課題

- ・シルバー人材センターの運営費及び事業費に対して補助を行っています。
- ・会員数は減少傾向にあります。

【実績値】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
会員数（人）	501	495	477

⑪高齢者虐待防止の取り組み

■事業内容・目的

- ・高齢者の方への虐待防止のため地域関係機関の連携強化を図るとともに、早期発見予防のため、虐待防止の啓発活動を行う。

■現況と課題

- ・高齢者虐待に関する問題は増加傾向にあります。

[高齢者虐待件数]

【実績値】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
相談・通報件数（件）	7	13	17
虐待と判断した件数（件）	5	9	3
分離を行った件数（件）	3	3	1

[虐待防止講演会]

【実績値】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
開催日	3月28日	2月21日	1月15日
内容	参加者 約200人 テーマ「知って得する老後の暮らし」	参加者 44人 テーマ「高齢者虐待の現実～私たちに出来ること～」	参加者 71人 テーマ「高齢者虐待と消費者被害の予防について」

(2) 高齢者施設福祉事業の現状

① 老人保護措置費

■事業内容・目的

- ・身体上、精神上、環境上および経済的な理由により居宅での生活が困難な人を養護老人ホームに入所させることにより、高齢者の生活の安定を図ります。

■現況と課題

- ・養護老人ホームにより入所者数にばらつきはありますが、合計人数は横ばい傾向にあります。

【入所者数】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
宝泉寮（設楽町）	1	1	-
明範荘（愛西市）	2	2	1
新和楽荘（一宮市）	3	5	6
ジョイフルむつみ（江南市）	4	4	3
しょうなあさひが丘（春日井市）	3	3	3
天王川荘（津島市）	1	-	-
総合老人ホームつつじ荘（豊橋市）	-	-	1
計（人）	14	15	14

3 地域支援事業

(1) 包括的支援事業

①地域包括支援センター事業

■事業内容・目的

- ・地域住民の心身の健康の保持および生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上および福祉の増進を包括的に支援します。介護保険外のサービスを含む高齢者や家族に対する総合的な相談・支援、被保険者に対する虐待防止や早期発見、権利擁護事業、支援困難ケースへの対応並びにケアマネジャーへの支援、介護予防事業のマネジメント等を行います。

■現況と課題

- ・「介護予防ケアプラン作成件数」は増加傾向にあります。今後は増加する高齢者のニーズに応えられるような体制を整備する必要があります。

【実績値】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
介護予防ケアプラン作成件数	3,932 人	4,210 人	4,416 人
内指定居宅介護支援事業所委託件数	1,038 人	1,644 人	1,740 人
二次予防対象者ケアプラン作成数	0 人	0 人	0 人
指定居宅介護支援事業所委託数	34 事業所	37 事業所	37 事業所

平成23年度	相談件数	西柞地区	新川地区	清洲地区	春日地区	その他	計
		1,107件	1,757件	1,254件	550件	33件	4,701件
	相談内容	総合相談	権利擁護	ケアマネ支援	予防給付		
		2,546件	93件	104件	3,979件		
地域ケア会議 (多職種連携会議)		20回					
研 修	清須市地域包括支援センター・清須市の高齢者福祉事業等説明会 ケアマネジャー研修会 (3回) ケアマネジャー意見交換会 (3回) 主任ケアマネジャー研修会					60名 126名 119名 23名	
平成24年度	相談件数	西柞地区	新川地区	清洲地区	春日地区	その他	計
		1,086件	1,730件	1,389件	565件	88件	4,858件
	相談内容	総合相談	権利擁護	ケアマネ支援	実態把握	予防給付	
		4,278件	143件	157件	197件	2,827件	
地域ケア会議 (多職種連携会議)		26回					
研 修	清須市地域包括支援センター・清須市の高齢者福祉事業等説明会 ケアマネジャー研修会 (6回)・意見交換会 (7回)					70名 181名	
平成25年度	相談件数	西柞地区	新川地区	清洲地区	春日地区	その他	計
		1,323件	1,903件	1,491件	450件	78件	5,245件
	相談内容	総合相談	権利擁護	ケアマネ支援	実態把握	予防給付	
		4,585件	183件	132件	181件	2,843件	
地域ケア会議 (多職種連携会議)		12回					
研 修	清須市の高齢者福祉事業等説明会 ケアマネジャー研修会 (事例検討会) (3回) 地域包括ケア研修会 (3回)					66名 106名 459名	

(2) 任意事業

① 家族介護者交流事業

■ 事業内容・目的

- ・ 在宅で高齢者等を介護している方が、日ごろの悩みを打ち明けたり、介護の知識や技術について学んだり、情報を共有したりなど、相互に交流しリフレッシュを図ることを目的として開催します。

対象者：在宅で介護をされている方など

■ 現況と課題

- ・ 年々参加者数は増加しており、今後充実を図る必要があります。

【実績値】

平成 23 年度	事業名	介護者リフレッシュの会 (2日間)
	内容	① 端布で作るネックレス製作と交流、リフレッシュ体操 ② 介護に役立つ健康法とレクリエーション、交流会
	参加者数	延べ人数 11名
平成 24 年度	事業名	介護者リフレッシュ事業 (1日間)
	内容	① 日帰り旅行 (JAあぐりタウンげんきの郷、博物館「酔の里」)
	参加者数	延べ人数 18名
平成 25 年度	事業名	介護者リフレッシュ事業 (2日間)
	内容	① リフレッシュ昼食会 (手作り昼食、講義「誤嚥性肺炎について」) ② 日帰り旅行 (三重県桑名市「なばなの里」)
	参加者数	延べ人数 31名
	事業名	介護者のつどい
	内容	① 認知症介護者向け介護者のつどい (4回開催) ② 男性介護者向け介護者のつどい (2回開催)
	参加者数	延べ人数 38名
	事業名	介護講座
内容	① 排せつ介助の実技演習 ② 認知症高齢者の基礎理解と対応 ③ 高齢者向けの調理の工夫	
参加者数	延べ人数 63名	

(3) 介護予防

介護予防事業は、要介護状態になるおそれのある虚弱な状態にある高齢者を対象とする「二次予防事業」と、65歳以上の高齢者すべてを対象とする「一次予防事業」とがあります。

①二次予防事業

ア. 二次予防対象者把握事業

■事業内容・目的

・要介護状態等になるおそれのある虚弱な状態にあると認められる65歳以上の高齢者(二次予防対象者)を選定し、介護予防事業により、要介護状態等とならないよう予防することを目標としています。65～75歳未満(要介護状態にある者は除く)の方に基本チェックリストアンケートを郵送、アンケート回答者へアドバイス票を郵送。二次予防対象者に該当した方には、まるっと健康相談の利用を勧奨し、二次予防事業利用につなげます。

対象者：平成23年度は65歳以上、平成24～25年度は、65～75歳未満の高齢者

■現況と課題

・回収率が減少しており、未回収者の状況を把握する必要があります。

【実績値】

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
発送高齢者数(人)	9,115	7,145	7,388
回答者数(人)	6,294	4,421	4,037
二次予防対象者(人)	1,859	1,126	962
割合(%)	69.1	6.19	54.6

イ. まるっと健康相談

■事業内容・目的

- ・二次予防対象者に、健康相談の利用を勧奨し、介護予防の啓発・指導します。必要な方には二次予防事業への参加を促していきます。具体的には体力測定や、歯科衛生士による口腔機能維持向上指導、栄養士による栄養相談、保健師による健康相談を実施しています。

■現況と課題

- ・実施回数を増やしていますが、参加人数は減少傾向にあります。

【実績値】

	平成23年度			平成24年度		
	会場数	回数	参加人数	会場数	回数	参加人数
西枇杷島地区	1か所	2回	77人	3か所	6回	87人
清洲地区	1か所	2回	108人	3か所	5回	70人
新川地区	1か所	2回	116人	3か所	5回	73人
春日地区	1か所	2回	48人	2か所	3回	45人
計	4か所	8回	349人	11か所	19回	255人
	平成25年度					
	会場数	回数	参加人数			
西枇杷島地区	3か所	5回	47人			
清洲地区	3か所	5回	41人			
新川地区	3か所	5回	55人			
春日地区	2か所	3回	20人			
計	11か所	18回	163人			

ウ. 通所型介護予防事業

■事業内容・目的

- ・二次予防対象者が要介護状態等となることを予防することを通じて、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援します。生活機能の維持と向上のための指導を行います。

対象者：二次予防対象者把握事業において、要介護状態等になるおそれの高い虚弱な状態にあると認められる65歳以上の高齢者

■現況と課題

- ・二次予防事業参加者が減少しています。

【実績値】

あしがる元気教室 (運動機能向上)	平成23年度			平成24年度		
	実施回数	実人数	延参加人数	実施回数	実人数	延参加人数
西枇杷島地区	1会場14回	18人	162人	2会場各10回	12人	105人
清洲地区	1会場14回	24人	249人	2会場各10回	14人	132人
新川地区	1会場14回	19人	244人	2会場各10回	15人	144人
春日地区	1会場14回	15人	170人	2会場各10回	18人	185人
計	4会場56回	76人	825人	8会場80回	59人	566人
あしがる元気教室 (運動機能向上)	平成25年度			* () は、あしがる元気同好会 (自主グループ) 参加者へ合同指導		
	実施回数	実人数	延参加人数			
西枇杷島地区	2会場各10回	14人	120人			
清洲地区	2会場各10回	3人 (15人)	31人 (99人)			
新川地区	2会場各10回	14人	123人			
春日地区	2会場各10回	9人 (7人)	81人 (66人)			
計	8会場80回	40人 (22人)	356人 (164人)			

いきいき脳力教室 (認知症・閉じこもり予防)	平成23年度	平成24年度	平成25年度
会場	新川体育館	新川体育館	さわやかプラザ
実施回数(回)	22	22	23
実人数(人)	15	14	8
延べ参加人員(人)	221	246	142

②一次予防事業

ア. 介護予防普及啓発事業

■事業内容・目的

- ・地域において介護予防に資する自発的な活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指します。

●高齢者健康教育事業

- ・高齢期に関する健康問題等について、集団指導を行い、介護予防を図ります。介護予防に関する情報の提供、基本的な知識の普及・啓発を行います。

対象者：65歳以上の方、一般市民

【実績値】

	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	回数 (回)	延べ人員 (人)	回数 (回)	延べ人員 (人)	回数 (回)	延べ人員 (人)
行政出前講座	17	576	18	520	17	416
社会福祉協議会等他機関より依頼					10	407
包括支援センターと共同実施			36	1,187	11	388
計	17	576	54	1,707	38	1,211

※平成 24 年度より地域包括支援センターとともに「福祉出前講座プログラム」を作成し、受付窓口を地域包括支援センターとし、出前講座を実施した。また、行政出前講、社会福祉協議会等他機関より依頼により高齢者健康教育を実施した。

●健康相談事業

- ・健康問題に関する個別相談を行い、介護予防を図る。血压測定、尿検査、健康相談等を市内 4 か所の保健センターにて、健康推進課「市民健康相談」として実施しています。

対象者：一般市民のうち 65 歳以上実績

【実績値】

	平成 23 年度			平成 24 年度		
	会場数 (か所)	回数 (回)	参加人数 (人)	会場数 (か所)	回数 (回)	参加人数 (人)
西枇杷島地区	1	3	13	1	4	15
清洲地区	1	3	10	1	12	1
新川地区	1	3	17	1	4	21
春日地区	1	3	4	1	4	4
計	4	12	44	4	24	41
	平成 25 年度					
	会場数 (か所)	回数 (回)	参加人数 (人)			
西枇杷島地区	1	4	9			
清洲地区	1	4	1			
新川地区	1	4	26			
春日地区	1	4	7			
計	4	16	43			

●もの忘れ相談事業

- ・認知症に関する個別相談を行い、介護予防や介護方法を学ぶとともに、介護負担の軽減を図ります。認知症サポート医・かかりつけ医による認知症に関する個別相談を実施しています。

対象者：一般市民

【実績値】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
会場	清洲総合福祉センター	清洲総合福祉センター にしびさわやかプラザ	清洲総合福祉センター にしびさわやかプラザ
回数（回）	6	各3	各3
相談者数（人）	9	13	12

●らく楽運動教室（運動機能向上教室）

- ・運動器機能の維持・向上を図り、廃用症候群（生活不活発病）や転倒骨折を予防し、また、教室終了後も運動が継続できるように、自主グループを育成します。具体的には体力測定、セラバンド等を用いた運動実技指導、講話等を実施しています。

対象者：おおむね 65 歳以上の健康な高齢者

【実績値】

		平成 23 年度			平成 24 年度		
		西枇杷島地区	春日地区	計	清洲地区	新川地区	計
開催回数（回）		12	12	24	12	12	24
1クール（回）		12	12	12	12	12	12
会場数（か所）		1	1	2	1	1	2
会場		にしびさわやかプラザ	春日公民館	-	新清洲保育園	寺野公民館	-
参加状況	実人数（人）	17	20	37	22	19	41
	延べ人数（人）	167	210	377	232	187	419
		平成 25 年度					
		西枇杷島地区	清洲地区	計			
開催回数（回）		12	12	24			
会場数（か所）		1	1	2			
会場		西枇杷島会館	土田集会所	-			
参加状況	実人数（人）	17	20	37			
	延べ人数（人）	169	223	392			

●ますます元気教室（運動機能向上教室）

- ・運動器機能の維持・向上を図り、廃用症候群（生活不活発病）や転倒骨折の予防を目指します。体力測定、プールやトレーニングマシンを用いた運動実技指導等を実施しています。

対象者：おおむね 65 歳以上の健康な高齢者

【実績値】

		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
開催回数（回）		3	2	2
会場数（か所）		1	1	1
会場		アルコ清洲	アルコ清洲	カルチバ新川
1 クール（回）		10	10	10
参加状況	実人数（人）	57	52	38
	延べ人数（人）	445	398	316

●ロコモ体操教室（運動機能向上教室）

- ・運動器機能の維持・向上を図り、廃用症候群（生活不活発病）や転倒骨折を予防を目指し、運動実技指導等を実施します。

対象者：おおむね 65 歳以上の健康な高齢者

【実績値】

		平成 24 年度
開催回数（回）		1
会場数（か所）		1
会場		アルコ清洲
1 クール（回）		12
参加状況	実人数（人）	38
	延べ人数（人）	382

●市民健康講座（介護予防）

- ・高齢期に起こりやすい問題や疾患について理解を深め、健康管理に役立ててもらおうことを目的に、専門医による講話を実施します。

対象者：おおむね 65 歳以上の高齢者

【実績値】

平成23年度		
会場数	回数	参加数
膝の痛み予防	名古屋第1赤十字病院 整形外科部長 大澤 良充氏	44
毎日できる運動 ～元気に歩き続けるために～	サンフェローズ主宰 川元 照子氏	24
平成24年度		
会場数	回数	参加数
口腔の健康についての講話	歯科医師 深尾 裕和 氏 歯科衛生士 舟橋美千代氏	35
歌や楽器を楽しむ講話と体験会	音楽療法士 浅野滋子氏 協力者：まちの達人 久米理一郎 氏	46
男性向けの手軽な調理と気軽にできる体操	管理栄養士 山田佳代子氏、食生活改善推進員・健康づくりリーダー	15
平成25年度		
会場数	回数	参加数
ポールウォーキングに関する講話と清須ウォーク参加	健康運動指導士 長谷川 弘道 氏	39
大のリトミックに関する体験会	リトミック講師（音楽療法士） 鈴木 千春氏、東谷 悠子氏	26

●認知症サポーター養成講座

- ・認知症を理解し支援する人が地域に多数存在し、認知症の人が安心して暮らせる地域づくりを目指します。講話、グループワーク等を通じ、認知症サポーターを養成します。

対象者：認知症を理解し、地域で支えることに関心のある市民

【実績値】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
開催数 (回)	8	14	20
養成数 (人)	244	423	634
10代 (人)	86	27	149
20代 (人)	3	74	23
30代 (人)	11	15	53
40代 (人)	4	24	45
50代 (人)	12	30	29
60代 (人)	62	179	115
70代以上 (人)	66	74	217
平成18年度からの累計数 (人)	3,070	3,314	3,740
小学校 (校)	1	0	0
中学校 (校)	1	1	3

●介護者のつどい

- ・介護方法・サービス等の情報交換や、介護の悩みなどを話す等して心身のリフレッシュや介護者同士の交流を図り、介護者の負担を軽減することを目的としています。介護者や介護経験者が集まり、情報交換や交流を行います。

対象者：介護者や介護経験者

【実績値】

		平成 23 年度	平成 24 年度
男性介護者のつどい	開催数 (回)	2	2
	参加人数 (人)	10	6
認知症介護者のつどい	開催数 (回)	4	4
	参加人数 (人)	32	6
寝たきり介護者のつどい	開催数 (回)	2	-
	参加人数 (人)	5	-

※25年度より、地域包括支援センターへ委託（任意事業 家族介護者交流事業）

●ボランティア育成・支援事業

- ・地域の高齢者が自ら介護予防活動に参加し、介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域づくりを目指します。介護予防に関するボランティア等の人材を育成するための研修の開催、介護予防に向けた取り組みを行う地域組織の育成・支援を行っています。

対象者：65歳以上、認知症キャラバンメイト、健康づくりリーダー、地域で介護予防およびその支援のための活動に関わる人

【実績値】

		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
認知症サポーターキャラバンメイトフォローアップ研修	回数（回）	—	—	—
	参加人数（人）	—	—	—
健康づくりリーダー研修	回数（回）	1	2	2
	参加人数（人）	11	24	33

●家庭訪問・面接・電話相談事業

- ・地域の高齢者の生活習慣病予防および介護予防、虐待予防等を図ります。保健師等が高齢者の居宅を訪問し、必要な保健指導や関係機関との連絡調整等を行います。

対象者：65歳以上で二次予防対象者、処遇困難高齢者等

【実績値】

		平成 23 年度			平成 24 年度		
		家庭訪問	面接	電話相談	家庭訪問	面接	電話相談
精神保健福祉	実人数（人）	11	8	—	24	3	—
	延べ人数（人）	37	18	20	43	5	51
生活習慣病	実人数（人）	120	—	—	55	—	—
	延べ人数（人）	164	91	177	84	11	27
その他	実人数（人）	2	—	—	28	35	—
	延べ人数（人）	2	2	33	43	51	78
		平成 25 年度					
		家庭訪問	面接	電話相談			
精神保健福祉	実人数（人）	7	—	—			
	延べ人数（人）	12	0	4			
生活習慣病	実人数（人）	94	—	—			
	延べ人数（人）	95	31	20			
その他	実人数（人）	10	30	—			
	延べ人数（人）	14	35	72			

